



## 高校受験のために効率よく点数をアップさせる教科別の勉強法

到達度確認テスト、ご苦労様でした。夏休みの学習の成果を発揮できたでしょうか？

三者面談で、「何からどのように勉強したらいいかわからない。」という訴えがありました。今号では、教科別の勉強の進め方や具体的な方法について説明します。答えや解説を読んでも理解できない問題については、早めに先生や得意の友人に聞くことも大切です。

## 国語



国語の場合は、漢字や古文の単語を暗記していれば得点につながりやすくなります。テスト形式で問題を解き、間違えた漢字やわからない古文の単語は、重点的に学習することが大切です。入試対策の市販の問題集や塾のテキストなどを参考にした上で、文法は出題頻度が高いものから覚えていくと良いでしょう。長文問題は、単語の暗記のように短期間で成績が上がるようなものではありません。試験内容は初見の文章となるため、長文読解の問題集を多数こなし、時間を意識しながら、読解力をつけていく必要があります。

受験では、効率的により多くの問題を解いていくことが大事です。そのため、まず本文を読むのではなく問題文から読む癖をつけておき、何を聞かれているかを把握したうえで、大事な部分を読み取るようにしましょう。答えを選ぶときや書くときも、自分の感覚に頼るのではなく、理論立てて考えて文章の中から答えの根拠となる文章を見つけると正解を出しやすくなります。文章中に頻繁に出てくる用語や作品の題名は、ヒントとなりテーマとなっていることが多く要チェックです。

また、筆者が何を伝えたいかというポイントを自分なりのパターンで文中に線や印をつけて目立たせましょう。例として①重要だと思う箇所⇒傍線アンダーライン、筆者が主張箇所⇒波線アンダーライン、正解だと思う箇所⇒◎印、間違っていると思う箇所⇒×印など。要点を目立たせることで読解力がアップします。

千葉県公立入試では、隣接県にはない「聞き取り」があります。対策はズバリ、「メモを取る癖」をつけること。朝の会の担任の先生の話をもとにノート等に要点を毎日メモすることを続けてみましょう。

## 数学



数学の勉強は、まず計算に代表される「基礎問題」を確実に解くことが大切です。次に不得意な分野を乗り越える勉強法が効果的です。数学は計算だけに限らず、図形や文章問題などさまざまなバリエーションの問題が出題されます。もし、中学の数学がどうしても好きになれないときは、小学校の問題からじっくりと復習する勉強法をしてみましょう。

また数学では、受験する高校のレベルに合わせて問題集を選ぶことが重要です。たとえば、合格点250点～400点の高校であれば、たくさんの基礎問題が載っている問題集が解けるようになるといいでしょう。400点以上の高校の場合は、応用問題まで解ける問題集を選ぶ必要があります。分からない問題は解説を見て解き方を理解し、解説を熟読しても分からない場合は、先生や数学が得意な友人に教えてもらいましょう。

数学では公式を暗記することが重要だと思っている中学生が多くいます。もちろん公式を覚えておくことは大事ですが、問題を解くときにどの公式を使って解くかがすぐに判断できなければ意味がありません。そのため、できるだけ多くの問題を解いてある程度のパターンを知っておくことが必要です。

高校受験の数学は、基礎問題がクリアできればほとんどの高校に合格できる点数をとることができます。何問かは解くことが極めて困難な問題が出題されていますが、クリアできる受験生はほとんどいないのです。そこに時間をかけすぎて全部の問題を解くことができなかつたり、マイナスのイメージが付いてしまつたりするくらいなら思い切ってその問題を後回しにして、できる問題から解くのも1つの方法です。

## 英語



英語の場合は、まずは英単語と文法の勉強から始めましょう。単語や文法が理解できていないとどんな問題も解けません。単語帳などを使ってできるだけ多くの単語の意味を覚え、使い方を理解しましょう。英文法は問題集などに出てくる例文ごと覚えると使い方も含めて理解できるので応用力がつきます。

長文読解問題は、国語と同様にまずは問題文から目を通す癖をつけておきましょう。何を聞かれているかを把握したうえで本文を読むことでより効率的に問題が解けます。長文問題は数をこなすことで実力がついてきます。そうすることで英語の長文を読むことに慣れ、結果として問題を解くスピードも上がってくるでしょう。

リスニング問題対策もぜひ行いましょう。千葉県のリスニングにおける点数比率は全国でも高く、対策が必須となります。リスニング力を上げるコツは「とにかく英語を聞くこと」です。高校受験専用の教材でも、一般的なリスニング教材でもかまいませんが、ネイティブが発音しているものが望ましいでしょう。すきま時間などを利用して、普段から耳を英語に慣らしておくことが大切です。

## 理科



理科は勉強量に比例して成績が上がりやすく、また短期間の勉強でも点数が上がりやすい科目です。自分でまとめノートを作ると、理科の知識を整理しながら復習でき、また自分で何度も確認することもできて効果的です。ノートを作る際は、関係のある図形や表を並べて描いてみると頭の中にインプットされやすく、全体像がつかめます。また、同じ問題集を3回以上解くことも重要です。学校や塾で使っているものでも、市販のものでもかまいませんので、繰り返し解くことで、弱点箇所が発見することもでき、必要な知識が効率よく覚えられるようになってきます。

理科の用語では火成岩の覚え方（しん かん せん は か りあ げ）のように語呂合わせで覚えられるものがあります。語呂合わせで覚えることで試験中に思い出しやすくなるのでとても効果的です。また、理科の計算の公式などは、「 $\frac{み}{は \times じ}$ 」と同じように書けるものがあります。例えばオームの法則の「 $\frac{V}{R \times I}$ 」や電力の「 $\frac{W}{V \times A}$ 」、仕事の「 $\frac{J}{W \times s}$ 」などは「みはじ」と同様に書くことができます。このようにして書くことで公式も効率よく覚えられます。また、理科の計算問題では単位がとても重要です。単位を覚えておくことで、どの公式を使えば計算できるのかがわかるようになり、公式を間違えることも減ります。中学校で出てきた単位をしっかりと覚え、単位の変換もできるようにしておきましょう。

入試では時間内にすべての問題に解答できるのが理想的ですが、最初はどうもいかない場合があります。そのため、過去問を解くときは、暗記系の問題を先に解き、残った時間を計算問題に使うなど、自分なりの時間配分も意識しておきましょう。

## 社会



社会も理科と同様に、勉強した分だけ成績が上がりやすい教科です。まずは、一問一答式の問題集で単語などを暗記していきましょう。千葉県では、暗記式だけでなく記述式の問題が多く出題されます。そのため、記述で答える問題集もこなしておく必要があります。通知票で「思考・判断・表現にAが付かない人」の多くは、記述問題そのものに苦手意識があり、遠ざけてしまうケースが多くあります。しかし、問題集を複数見比べても、記述問題で問われている事柄はたいてい一緒なので、逃げずに繰り返し解くことがとても重要で、得点アップが望めます。

地理はグラフ問題が多く出題される傾向にあるため、グラフを読み解く練習をしておくとうまくいでしょう。世界の国々と比較して生産量が多いか少ないか、都道府県がわかる特徴的データはないか等を見つければ、解けたも同然です。グラフを読み取った文章が正しいかどうかについて記号で答える問題がよく出題されますが、総じてア～エのうち「ウ」や「エ」に正解が多い傾向があるのもおもしろいところです。雨温図や地形図は必ず出題されますので、この対策は必須です。

歴史は単語よりも時代の流れのほうが重要ですので、出来事の年代や時系列までしっかり覚えておく必要があります。年号や人物を個別に丸暗記せず、年代のながれやあらすじを頭に入れ丸暗記すれば効率よく理解できます。また絵や写真史料も多く出題されますので頻出の史料はまとめて学習すると良いです。

公民は時事問題が中心となります。そのため、最低でも過去5年分くらいについて、政治や災害などを中心に国内外で起きた主な出来事について調べておきましょう。問題集や過去問を積極的に解き、間違えた問題を中心に、複数回繰り返し解いていくことで実力がついてきます。